

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスビリーブ笹原		
○保護者評価実施期間	令和6年11月30日		～ 令和6年12月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和6年11月30日		～ 令和6年12月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多彩なプログラム	季節イベント、外出行事、クッキング、公共交通機関の利用など利用者が楽しみながら経験を積むことができるように計画を立て、様々なプログラムを実施している。また、利用者の発達状況に応じてプログラムを作成している。	利用者や保護者からの意見やリクエストも取り入れながら、より充実したプログラムとなるように工夫を行っている。
2	手厚い人員配置、専門性の高い支援	基準より手厚い人員配置で支援にあたっている。また、社会福祉士や精神保健福祉士、教諭免許、保育士などの有資格者をはじめ、教育や支援の現場に従事した経験のある職員が多く在籍している。内容によっては、個別での支援を取り入れている。	質の高いプログラムが実施していけるように、研修などを行い職員の質の向上を図っていく。また、専門的支援加算を取り入れて支援を行っている。
3	活動の様子を記録や写真にして確認できるようにしている	活動の様子などを知ってもらうことで、家での会話を増やしたり、利用者が家で活動の内容を話やすいようにしていると共に、保護者に安心感を持ってもらうようにしている。	引き続き細やかな情報発信・共有をしていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や地域の他の子どもと活動する機会が少ない	地域の公園の利用やお店の使用などを通して、地域の方との交流を図ることはありますが、放課後児童クラブなど団体同士での直接的な活動の機会は設けられていない。	地域の行事に参加するなど必要に応じてそのような交流を持つ機会を検討していく。
2	活動スペースについて	定員に対してのスペースの基準は満たしているが活動内容によっては配置など工夫を必要とする。	限られたスペースではありますが、活動内容に合わせて安全面に考慮し日ごろの活動などを行っています。スタッフ間で死角や危険箇所などの共有を図り利用者の安全の確保を今後も行います。
3			